

新 生

雪の降る 音を聞きつつ 眠りけり 小富士



東北新生園入所者自治会

平成二十二年十二月 十日印刷
平成二十二年十二月二十日発行

新生第六十二巻 第四号

新 生

平成二十二年十二月 十日印刷
平成二十二年十二月二十日発行

第六十二巻第四号

東北新生園の概況

位 置	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地 (仙台市より北方60km)
敷 地	352,489.53㎡
建 築 面 積	22,489.84㎡
延 床 面 積	23,693.59㎡
開 園	昭和14年10月27日
医 療 法 定 床	427床
現在入所者数	男67名 女68名 計135名
職 員 定 員 数	163名 (平成22年2月1日現在)
園 長	医学博士 横 田 隆

交通案内図



園内日誌

平成二十二年 七月～九月

《七月》

十四日 岩手県慰問
十五日 仙台医療福祉専門学校 施設見学・会長講演
二十二日 福島県慰問
二十四日 第十二回園内花火大会
二十六日 宮城県慰問

《八月》

四日 東仙台中学生施設見学
九日 秋田県慰問
十一日 愛媛大学准教授来園
十三日 お盆行事（納涼抽選会）
二十五日 真山小学校教諭来園
二十七日 天理教養所協議会委員訪問

《九月》

七日 楓会発会六十四周年東北新生園
物故者慰霊祭
十一～十四日 天理大学生奉仕活動
（生徒十三名、先生二名）
十七日 敬老会
（第二メープルケアセンター集会所）

【謝寄贈図書欄】

平成二十二年七月～九月（敬称略）

甲田の裾	青森県	松丘保養園
楓	岡山県	邑久光明園
青松	香川県	大島青松園
高原	群馬県	栗生楽泉園
高生	岡山県	長島愛生園
愛生	岡山県	星塚敬愛園
始良野	鹿児島県	星塚敬愛園
同朋新聞	京都府	真宗大谷派宗務所
真宗	京都府	真宗大谷派宗務所
菊池野	熊本県	菊池恵楓園
多磨	東京都	多磨全生園
駿河	静岡県	駿河療養所
JLM	東京都	社団法人JLM

平成22年12月10日 印刷
平成22年12月20日 発行

東北新生園楓会(自治会)
文化 部
行 集 会 文 化 部
編 刷 川内印刷株式会社
印

〒989-4601

宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一

発行所 東北新生園 電話 0228 (38) 2121(代)
東北新生園入所者自治会 電話 0228 (38) 3600



岩手県慰問
盛岡清流会による「さんさ踊り」
(平成22年11月5日)



元副園長
森 芳正様より
絵画寄贈

【作品】
山田 伸
「群」

第90回院展
奨励賞受賞



新生・第六十二巻第四号……………目次

表紙……………「山里の雪景色」……………桃生 小富士

新生園に赴任して……………庶務係長・佐々木 孝男……………(2)
自己紹介……………看護師・三浦 千尋……………(3)
自己紹介……………看護師・菅 原 俊……………(4)
随筆「おばあさんの留守居」……………今 野 きよし……………(6)

|| 新生文芸 ||

詩……………選 者 今 入 惇……………(9)
短 歌……………選 者 長 田 雅 道……………(10)
俳 句……………選 者 山 田 桃 晃……………(12)
川 柳……………選 者 栗 石 隆 子……………(14)
随筆「母と娘の会話」……………今 野 きよし……………(16)
礼状紹介……………栗原市瀬峰中学校二年生……………(19)
はじめまして……………看護師・千 田 博 子……………(25)
初めまして……………看護師・本 吉 美 枝……………(26)
はじめまして……………看護師・菅 原 かおり……………(27)
自己紹介……………看護師・二 上 忍……………(28)
園内日誌 謝寄贈図書

新生園に赴任して

庶務係長 佐々木 孝 男

四月に福島病院から異動となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

時の経つのは早いもので、もう五ヶ月が経とうとしています。慣れていない業務でもあり、戸惑う事が多々あり、皆様にはご迷惑をお掛けしている事と思います。この場でお詫びいたします。

さて、話は変わりますが、この原稿の題材は自由文ということなので題名を「新生園に赴任して」としましたが、今、職員カード（毎年書かされる人事異動の参考資料？）を書いているので、これを見ながら自己紹介したいと思います。

まず、生年月日。昭和三十四年生まれの五十一歳。実家は、岩手県花巻市東和町。大学を受験したが落ちたので、どうしようかと思っていたが、国立療養

所松丘保養園に採用になり、十年勤務しました（異動となる一年前に結婚）。

その後、弘前（長男誕生）、秋田、湯田川（次男誕生）、大湊、道川、米沢、山形（病氣休職、自宅購入）、福島（初めての単身赴任）と異動し、当園が記念すべき十施設目（初めての宮城県勤務）となりました。振り返ると、出身県で勤務したことは無く、日本海側の施設の勤務が多く、統合や移譲となり、今はもう無くなってしまった施設での勤務も多いと感じています。

昨年は、長男がいわき市にある大学に入学したので、長男のところに寄ってから一緒に自宅に帰ったりしていましたが、今年は、免許を取ったし、自由に帰りたいから軽自動車で良いから買ってくれと言われていますが、自分の車も十年以上経過しているし、燃費も悪いので買い換えたいが、どちらかを優先すべきか悩んでいます。

自己紹介

看護師 三 浦 千 尋

はじめまして、今年の四月一日より、第一病棟で看護師として働かせていただいています。三浦千尋と申します。どうぞよろしくお願い致します。

原稿の依頼を受けてから、何を書けばいいのだろう…、文章を書くのが苦手な私は、すぐすぐ悩みました。悩みに悩んで、私の自己紹介を書きたいと思います。

私の出身地は、東北新生園より約五〇キロ程離れた南三陸町という海岸沿いの町です。私がまだ学生の頃は歌津町という町でしたが、数年前に志津川町と合併し、南三陸町になりました。南三陸町は、リアス式海岸沿いにあり、カキやホタテの養殖が盛んに行われ、海産物が町の名産になっています。又、

町の観光スポットとして、南三陸町の東南端にある神割崎は南三陸金華山国定公園の見所の一つで、岬が断ち切られたように裂けており、境争いを収めるために、神様が割ったと言い伝えがある名所です。町の西部には北上山地の山々が連なっており、田東山は古くから霊峰として知られています。標高は五百十二mの山から見れる三六〇度の大パノラマが望め、三陸海岸を一望できる好スポットであり、春にはつつじが咲き乱れ、つつじ祭りが行われています。又あまり知られていませんが、南三陸町では多くの化石が発見されており、最古の魚竜と言われているウタツ魚竜が発見されています。海産物・観光と色々見所がありますので、海岸沿いに遊びにいらした時は是非お立ち寄り下さい。

自己紹介が、南三陸町の紹介になってしまっていました…。

私は、小学校、中学校、高校を地元の学校を卒業後、東京の学校へ行き、そのまま東京で就職をし、十年程東京で生活をして、昨年の春に実家のある南三陸

自己紹介

看護師 菅原 俊

町に戻って来ました。実家へ戻って来る時に、運転免許を取得し、やっとで若葉マークが取れた今日の頃です。縁あって新生園で働かせて頂くようになり、毎日の運転で運転が上達したと家族からも言われ、私自身苦手だった運転が好きになってきました。ドライブを趣味に、新生園周辺の町を探検したり、色々な所へ行ってみたいと思っています。

今年の四月から第一病棟で勤務していますが、まだまだ不慣れで、入所者の皆様や、職員の皆様に迷惑おかけすることが、多々ありますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、どうぞ指導よろしくお願い致します。

四月十九日より東北新生園で勤務させて頂くこととなりました看護師の菅原俊と申します。

私は栗原市築館に生まれ、これまでもずっと栗原市で過ごしてきました。以前から新生園については知っていました、私が幼い頃に通っていた日曜学校というキリスト教を学ぶ学校で先生と共に何度か訪れたことがありました。当時はまだメープルケアセンターやさくらホールなどは建っておらず、面接の際、何年か振りに訪れた時には「こんなところだったかなあ」と立派になった施設を見上げていました。

看護師になろうとしたきっかけは、本当に偶然のものだったと思います。私はずっと剣道をしてきていて、そのまま大学に入っても続け、教員になりた

いという漠然とした考えでいました。そうして大学の願書を出す直前になって、「何か資格があった方がいいなあ」などと考え始め、急遽准看護学校を受験することにしました。本当に急だった為、周囲の方々に大変な迷惑をかけてしまいましたが、無事合格する事が出来、精神病院で勤務しながら学校へ通学する生活が始まりました。精神科は看護技術を要する場面はほとんど直面しませんでした、心と心の関わりが、患者様の気持ちになって考える、と言った看護師として、また人間として大切なことを学ぶことが出来ました。

私は小学校の頃から現在も剣道を続けています。趣味と言うよりは、もう私の生きがいとなっています。当初はそこまでのめり込むというほどではなかったのですが、中学二年生の時に教えを仰いでいる師に出会い、剣道とはこんなにも楽しいものなのだ、と教えて頂いたことが大きかったと思います。

剣道は、礼節を重んじる武道であり、数あるスポーツの中でも一番であると思います。あまり知られて

いないところでは、試合中に一本取った後にガッツポーズもしくはそれに等しい行為をとった場合「一本を取り消す」というものがあります。これも相手への失礼な行為にあたるからです。また、試合中鳴り物での応援や相手への野次ももちろん禁止です。こう言ってしまうと、とても堅苦しいという印象を持ちそうですが、実際はスピード感があり、相手とのかけひきもあり、むしろ格闘技に近いものがあると思います。とても楽しいです。

現在も試合に出場しており、県民大会では準優勝になりました。国体予選や市郡対抗大会にも出場していますし、地元の中学校ではコーチとして一緒に練習しています。

看護師という資格を得て一年と数ヶ月、まして今まで経験したことがあるのが精神科のみ、と新生園の病棟に配属が決まった時には、正直なところ「やっていたける自信がない」と思いました。内科や外科の知識もほとんど無く、技術的なものも全く出来ない。実際に勤務してみても、なんでこんなこともできな

いのだろうと自分の経験の無さがいやになってしま
うことも多々ありました。そのような中でも患者様
方はたとえ失敗しても「大丈夫だから。これから覚
えていけばいいんだよ。」と言って下さりました。
この言葉にとっても救われたことは、今でもはつきり
覚えています。

病棟勤務が始まって半年。ようやく仕事の流れが
分ってきて、少しずつではありますが業務を行える
ようになったのかなと思います。それでもまだ一人
前であるとは思えず、もつと頑張つて知識や技術を
習得していかなければならないと思っています。そ
して医療従事者として成長し、少しでも患者様の力
になれるような看護師になりたいと思っています。
皆様これからもよろしくお願いします。

A 孫娘 B 母親 C おばあさん

随筆

おばあさんの留守居

今野 きよし



- A おばあさん、おら腹へった。何かない？
C 戸棚に芋煮たのあつから、ほいつあがらえん。
A どの棚にあんの？
C なんだべ、ほれ、すぐそこにあっちゃ。見えな
いの？
A ああ、あつたあつた。うまそうだね。
C おばあさんが煮たもの、うまいに決まってるさ。
A この芋うまいね。ぼくぼくして、うめえこと。
八重ちゃんにも食わせでがったな。
C まだそこらに居たかも知れない。呼ばってござ
えん、早く行つて。

- A 道路の方見たけんとも誰も見えなかった。
C ほんで行つてすまったのかなあ。早く気づけば
えがったなあ。
A おばあさん今日何やつていたの。
C 今日か？今日はなあ、おやつのも蒸かすたり、
それから庭の草取りすたり忙しかった。
A ふうん、おばあさん昼寝すてだと思つて居たけ、
ほでねだね。
C それはな、昔から人は一生稼がねばねと言われ
てんだから。
A はあ、そういう事誰に聞いたの？
C 隣りのおばあさんに聞いた。家族でなくとも誰
さでも教えたんだ。
A ふうん、昔の人って他の家の人さでも良い事は
教えてくれたんだ。
C 誰さでもだ、他の家の人さでも良い事は良いと
教えてくれた。
A 悪い事すたときは叱ってくれた。
C 昔の人って責任もって見守ってくれたんだね。

- C そうだ、そのとおりだ。だから、世の中和で
暮らし良かったんだ。貧乏だけでもなあ。
A ああ、うまかった。
C おばあさん、ごちそうさま。
A これから、堤さ行つて駄目だからね。
C なして行くなつて言うの？
A なしてもだ。あつぐの堤、がたつと段になつて
て危ねだ。
A おら行きたいな、水浴びに。
C おら母ちゃんにA子を見ててけらえん、ちゃん
と見ててねと言われたんだ。
A ほだて、母ちゃん遠くの新生園で稼いでるもの。
C 母ちゃんはなあ、裏の山透しても、ちゃんと見
えてるんだから。
A 裏の山に土も木も石ころもあるもの。
C ところが、それが見えるんだから不思議なの。
母ちゃん、夕方お菓子屋に寄つて最中買つてく
るかもしれないなあ。
B たいいま、今日暑かった。遅くなつたと思つて

急いで来た。

A 母ちゃん、最中買って来たの？

B 最中か、明日買ってくるからな。

A ああ、がっかりした。

B なしてがっかりしたの？

A おばあさんが母ちゃん最中買ってくるって言ったの。楽しみにしていたの。

B そうか、それは悪かったなあ。

明日こそ忘れねで買ってくるからな。

A 本当？忘れないでね。

B 忘れない。今日A子の様子少しおかしかったから、気になって急いで帰って来たんだ。それで買う暇なかった。

A よく見えるんだね。何、気になったの？

B 堤さ水浴びに行く気になっていたなあと見えたから：裏の山透すて。

A はあ何でもわかるんだね。

B それはそうさ。そんでなかったら母ちゃんやってられねもの。

A 母ちゃんって、そんなになんでもちゃんと見えるのね。初めて聞いた。

B そうでないと母ちゃんになれないんだ。

A おばあさんも似たような事言っていた。

B おばあさんもそんな事言ってたのか。

やっぱりなあ。

A 何感心してだの？

B だって、おれが小さい時も似たような事言っていたのしや。

C 何すてったや。今、何語ってらのや？

B おれが小さい時の事と同じような事あるもんだと思っ、おかしくなっ、ね。ずんぐりばんこだね。こうすてつと良い事は伝わって行くんだね。

C ほだほだ。留守番これで終わりだね。

B 今日一日助すかりすた。明日も宜すくね。

— 平成二十年七月一日 記 —

新生文芸

詩

今入 惇選

◇ 入 選 ◇

《どうだんつつじ》 今野 きよし

治療棟の

前の垣根の

どうだんつつじ

紅葉の色の

濃くなりて

ビロード状に

真紅に染まり

みどりの物も

まじっている

枝の付け根に

かまきりの

卵の生みし

綿がある

色に魅せられ

去りがたし

紅葉の明日を楽しみに

【選評】

「どうだんつつじ」

今野 きよし

秋色濃い園庭の寸景を、色彩感豊かに描写した。カマキリの卵も、同じように発見する目であり、あすへのおもいも募ってその場にたたずむ。さりげない時間の断片のようだが、人生の深さもうかがえる。“ビロード”は“帯の”とした。織物の風合いの感触と色彩をはっきりさせた方がよいと思った。

短歌

長田雅道選

◇入選一位◇ 佐藤 つや子

右と左ことなる上履き萎えし足にはかせて
もらい歩けるしあわせ

【選評】

歩けることがしあわせと詠む作者。
健常者の多くは思ってもみないことであらう。右と左がことなる上履をはかせてもらうという事実は読者を感動させてやまない。

◇入選二位◇ 千代田 秀夫

啼くものも啼かざるものも皆いとし暮れ
ゆく秋の夜の独り居

【選評】

秋の夜の独り居は寂しいものである。心を慰めてくれる虫の音。鳴かない虫もい嬉しいと感じたのは鋭い感覚である。

◇入選三位◇ 今野 きよし

怪我に臥す私のことを案じつつ盲の妻は
介護を頼む

【選評】

怪我に臥す作者。盲目の妻は自分ではできない介護を介護職員に頼んでいる。夫婦の深い愛情が感じられる一首である。

◇佳作◇

佐藤 つや子

虫一つ網戸に夜通し鳴きつぎて蚊帳つり
いたる頃を思いぬ
手ふるれば時間と温度湿度まで告げる時計
を枕べにおく

しばらくで会いたる友と耳とおくなりいて
お互いに手をふれあいぬ

若い若いと思いいし友も七十を過ぎしとき
きぬ園は老いたり

取り出してまたしまいおく着古ししこの
セーターは捨てがたくして

最悪の病となげきし日はとおく今療園に満
ちたりて老ゆ

千代田 秀夫

一匹のカナカナ鳴きて夕暮るる暑さの中に
秋のひそめる

来年も来ればいいと八十の母の言の葉最後
となれり

眠られぬ夜に作りし短歌数首夜明けとともに
に何も残らず

軒下に忘れられたる風鈴に北風厳し狂える
如く

サーカスのじんたの響き懐かしく瞼に浮か
ぶ故郷の秋

今野 きよし

怪我に臥すベットのの上に夏の月細く差し込
み涼しさ覚ゆ

築館の中央病院に診察に行く日の迫り気持
ち高ぶる

リハビリの行く間の長く仕度してあれやこ
れやと迎えを待ちぬ

朝早く洗面道具用意せし介護職員忙しく動
く

補装具をはずして三夜休みたり朝の目覚め
の心清しく

俳句

山田桃晃選

◇ 入 選 ◇

千代田 秀夫

秋の音かき消す様に暮れにけり

【選評】

釣瓶落しの早さを音の早さと見たの
だろうか。秋の夕暮れは日が落ちると
見る見るうちにかき消されてゆく茜色
の雲が一日の貧苦を忘れさせてくれる
秋の音。

小野寺 静男

空蟬や古田にしがみつく農夫

【選評】

休耕田を古田と見た思いが淋しさと
悔しさをばねに働く姿が見えてくる。
猛暑にめげず一日一日を管理におこた
らず豊作の喜びを待つ空蟬の力の様
に。

斎藤 照雄

久しぶり故郷の土踏む秋の風

【選評】

故郷はいくつになっても懐かしい。
ことに久しぶりであれば土を踏む感触
があらたまる思いが有り、爽やかな風
のいろが芒を萩をゆらし里山の思い出
を味あわせ楽しませてくれる。

◇ 佳 作 ◇

今野 きよし

妹よりの残暑見舞の電話かな

口利くもおつくうなりし残暑かな

千代田 秀夫

眠られず句が句にならぬ熱帯夜

猛烈な暦内外大暑かな

この年も終の住処の障子貼る

誰の来ず何処へも行かず山眠る

園 永 泊

淋しさは足もとに來ぬ草もみじ

女三人豪傑笑い天高く

カナカナは瀬戸の山より連呼かな

園内の山路が細む草実る

斎藤 照雄

ふる里の方角指して雁の棹

湯の宿で秋の味かくに舌鼓

利府かい道ずらりと並ぶ梨売場

盆三日祖先の霊となごやかに

小野寺 静男

ようやくに訪れにけり秋の空

敬老の番付表に米寿なし

不調かと思ひし頃に威し銃

萩咲きし頃なり廻り道をして

川柳

雫石隆子選

◇特選◇

桜山南仙
語ろうよ一輪挿しからおりて来い

【選評】 一人ぼつんとしている人、孤独感に浸っている人へ手をさしのべる。温かい心遣いが漂う作品である。一緒に語り合うなら寂しさも紛れよう。「一輪挿し」の比喩が作品にポエジーをつけた。

斎藤照雄
揚げ花火故郷そこから見えるかな

【選評】

空高く揚がつた花火。夜空を仰ぎながら、その高さなら故郷が見えるだろうか、と言う望郷の思いが切ない。離れていればいるほど、思い出されるのが故郷。歳月も望郷への思いを消すことは出来ない。

千代田秀夫

旅人の一人の如く生家の前

【選評】

長く離れていた生家。知る人も家族さえも居なくなり、通りすがりの旅人のように生家に佇む。往時が走馬灯のように過り、寂しいとも悲しいとも表現のない分、深い寂寥感を思わずにはられない。

◇佳作◇

今野きよし

怪我に臥しぐっすり眠りありがたい
自室から花火見られてありがたい
回復を祈って貰いありがたい

斎藤照雄

大手振り天下の秋を闊歩する
病みなれて見る夕月もおつなもの

桃生小富士

ブランコのリズムで撫む秋の天
秋風に心の内を覗かれる
瀧落ちて天下の秋を独り占め
スポーツのようにフエアーな政治欲し

桜山南仙

割り当ての分だけ鳴いて蝉かえる
行き詰まる時人影にかたりかけ

千代田秀夫

後悔が染み込んでいる古暦
襟立てず世間の風をまくる受け



随筆

母と娘の会話

今野 きよし



A 娘 B 母

A お母さん、昨日ね。
B 昨日どうしたの？
A 昨日ね、入所者の方で茂さんっていう人ね…。
B 何か聞かれたの？
A お母さん元気ですか？って聞かれたの。
B 私のこと知っている人？
A 十年も前に職場の先輩にね…。
B 先輩がね？
A あんたはお母さんに良く育てて貰ったねと言って褒められたの。
B うん、そんなことあったのか。
A そうなの、そういうことあったの。

A 私には何も言わなかったね。
B だって恥ずかしいもの。
A 何も恥ずかしがることないでいいの。
B そうかね、そういうことなの。
A そういうことはちゃんと話しても良いのよ。
B その時の事を茂さんっていう方が覚えていたの。
A あんたのことを気にかけていたんだね。
B それで元気で居ますと答えたところ、私がほめられたことをちゃんと覚えていたの。
A それは良かったね。それだけあんたが皆さんにかわいがられているんだから。
B そうかしら、そういうことなのね。
A そうよ、それだけ職場の皆さんに認めて貰っているのよ。
B そこまで考えたことないもの。
A そこが又あんたの良い所よ。意識しないから。
B そう言えばそうだね。
A 随分あんたもそこに力が入るね。
B そうだね、力が入ったね。おかしいね。
A そうよ、あんたはそういうのんきなところあるの。

A のよ。それが私の心配の種。
B そんなにお母さんに心配かけていたのね。
A そうよ。あんたのこと何十年も心にかけていたのよ。
B それではお母さんに心配かけどおしだったんだね。
A 一体この娘はどうなるのかと思っていたのよ。
B そう言えば、私年ごろになってもあまり心配したことはなかった。
A そうでしょう、いつまでたってもあっさりしていると思っ見ていたもの。
B ところがね、お母さん。心の中ではそうでなかったのよ。
A どういうこと？私には分らなかったのよ。
B お姉ちゃんはお嫁に行ってしまうし、お父さんとお母さんを置いて行くわけにもいかないし…。
A そんなこと考えていたの？
B 私ね、お母さんの老後の事を考えていたのよ。
A 私はそのことがつかなかった。
B そうでしょう。私気付かないようにしていたもの。

A そういうあんたはやっぱり私の娘だ。
B そうでしょう。わたしはね、ちゃんと考えがあったんだから。
A そうか、それではあんたは鼻が高いね。
B 又私を喜ばせて。これからはうんと親孝行するからね。
A 今までだって充分でないの。
B これで充分なのか。簡単だね。
A 簡単だなんて、これ以上減らさないでね。
B 減らさない。もつともつと孝行するから。
A 頼むからね。親孝行の私の娘さん。
B 先ほどの話をした茂さんね、十年ぶりで私が係になって行った時ね。
A 何か話があったのか？
B 私他の職場に勤務交代になった時、「今度来るときなあ、孫連れてなあえ」と長持唄を唄って送ってくれたの。
A その茂さんという方、喜んでくれたのか？
B ああ、孫連れて来たねって迎えてくれたの。
A そんなに何年もお前のこと覚えてくれたのか。
B 私は忘れていた。そう言われて思い出してね。

B あんたは忘れていても、ちゃんと覚えていたぶりたでしょう。

A そうね、そんな素振りをした。

B そうでないといけないから、唄を唄ってくれた方に。

A それからね、私が結婚した時にスーパーに二人で買い物に行ったところを見たんだって。

B どんなどころ見られて困る事あったの？

A 旦那にね、シャツを買ってやる時、これかあれかと二人で話をしていたの。

B それでどうしたの？

A 私に言葉かけようとしたけれども、出来なかったって言うていたっけ。

B そんなことあったの、良かったでないの。

A 私に声をかけて下されば良かったのにと言うととても出来なかったって言うていた。

B それは大分前の話でしょう。

A そうね、十年前の話かしら。

B それは良かったね。

A お母さんもうんと長生きしてね。

B はい、ありがとう。

A 今日ね、私ね勤め休みなの。お父さんも旦那も出て行ったし、お母さんと話が出来て良かった。

B そう言えば今日皆んな勤めやら学校で誰も居ないんだね。

A そう言えばそうね。気付かなかったけれども話に夢中になったね。

B あんたとしばらくぶりでゆっくりした。

A それで今日午後はゆっくりして、それから買い物に行くから、お母さんどう？

B あんたの車に乗せて貰うの、しばらくぶりだね。

A そうだね、ちゃんとお化粧してね。私車を準備して待っているから。

B 待たせたね。あんたと姉妹のように若づくりしてきたからね。

A 支度に気が取られて財布わすれてない？

B 忘れない、どつさり持ったもの。

A では、発車オーライ。

A B 二人で手を振って出て行った。

— 平成二十二年一月十三日 記 —

職場体験学習



平成二十二年九月十四日

栗原市瀬峰中学校二年生の生徒五名の

生徒さんが東北新生園で職場体験をしました。

職場体験学習について（御礼）

初秋の候 貴園におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また日頃、教育活動の推進に對しまして、並々ならぬご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、九月十四日の職場体験におきましては、ご多忙にもかかわらず、生徒たちに懇切且つ適切なご指導やご助言を賜り、意義深い活動を体験させて頂きましたこと、衷心より感謝申し上げます。

生徒の感想を耳にしますと、皆様のお仕事の様子を目の当たりにし、初めは緊張感もあったようですが、体験を通して多くを学び、日常の学校生活では

味わえない役割を任されたことに充実感を感じてきた様子です。

また、ねらいの一つでもありました、しっかりとした勤労観・職業観についても、この体験を基に将来の指針として真剣にとらえたのではないかと考えております。

生徒たちが学んだことや味わったことを、今後の中学校生活に生かしていきますよう我々も努めて参りたいと考えております。

今後とも、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、貴園の益々のご発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げます、御礼の挨拶といたします。

栗原市立瀬峰中学校

校長 小野寺 幹 雄

.....
当園で職場体験学習をされた生徒さんからお礼のお手紙を頂戴いたしましたので、「ご紹介します。」

東北新生園の皆様

涼しい風が吹いてきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか

先日は私達の職場体験にお忙しい中、時間をつくっていただき、ありがとうございました。

職場体験食は初めてのことで緊張して迷惑をかけてしまっていました。

その中でも学んだことはたくさんありました。1つは入所者の方々がどのような生活をして、どのようなイベントやレクリエーションをしているのかが分かりました。中々もスライカ割りをしたと言った時の写真はすごかったです。吹き出しの言葉もおもしろかったです。

2つ目は南地さんや皆様のお話です。昔、どのようなことがあったのか今はどうか。そして今、楽しんでいることや趣味。たくさんのお話が聞けて楽しかったです。皆様の話をしているときの楽しそうな表情は今でもはっきりと覚えています。それに私達を「孫みたいだ」と言っていたのは本当にうれしかったです。

私はこの職場体験を生かして将来のことをよく考えたいと思っています。もとたくさんのお話をしたり聞いたりしたかったです。

これからもお体に気をつけて元気にお過ごし下さい。

ありがとうございました。

平成22年 9月14日

栗原市立瀬峰中学校2年

二上愛衣



東北新生園の皆様

日ごとに秋の冷たい風が感じられるようになりました。新生園の皆様は、その後お元気でいらっしゃいますか。

先日は、お忙しい中 私達のために職場体験をさせていただきありがとうございました。入所者の看護についてやそれぞれの生活についてなどとても勉強になりました。おかげ様で、将来について改めて考えることができました。本当にありがとうございました。

私は医療関係のことが知りたくて新生園を体験してみたいと思いました。最初は看護師とはどのような仕事なのかあまり知りませんでした。しかしこの体験を通して知ることができました。目が見えない人には手をくんで歩いたり、あまり耳の聞こえない人には大きな声で話したり、人それぞれ接し方がちがうんだなあと思いました。清水さんの話を聞いて、昔はとても辛かったことが分かりました。手が不自由なのにとても絵がうまくてびっくりしました。体験を通して学んだ事をこれからの自分の生活にいかしていきたいと思います。

今日はお忙しい中、本当にお世話になりました。最後になりますか、お体に気をつけてがんばってください。

平成22年 9月14日

栗原市瀬峰中学校2年 菅原 優奈



東北新生園の皆様

爽秋の候、皆様にはその後お元気でいらっしゃいますか。

さて先日、僕達のために時間を割いていただき、ありがとうございました。

新生園のこと、人所看の生活とその援助をしている職員の方々についてとても分かりやすく教えてくださり、医療のことについて今まで以上に知ることができました。おかげさまで社会に出てからの道というものが少しづつ見えてきたよう気がします。本当にありがとうございました。

僕は将来、医者になりたいと思っています。医者になるといってもいろいろな医者がいますが、とにかく医者になりたいのです。なぜなら、医療についての本を読んだところ、大変おもしろく、医者がとても魅力的だ、たかうです。将来医者になって、病気で困っている人を助けてあげるのが僕の夢です。

今回は、大変なときに本当にお世話になりました。最後になりましたが、新生園の皆様、お体を大切なお過ごしください。まは御礼まで

平成22年9月吉日

栗原市立瀬峰中学校 2年

高橋 涼



東北新生園の皆様

日ごとに秋風が感じられるようになりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか

先日はお忙しい中を私達のために時間を割いていただき、ありがとうございました。看護師さんやその人に合った接し方に対応することが分り、とても勉強になりました。

私達のグループは看護師になりたいと思う人が多いです。

なので実際には、ハセセシ病にやかったおまの過去の辛さを知り、とても悲しい事だと思いました。ハセセシ病にやかったおまは、治って故郷に帰ってみれば、「お前がいてと病気がうつる」といって、故郷にモリ帰れず、外を歩いてみれば変な目で見られるという、厳しい現実を口実に、おんたなと思いました。でもその現実には、たえて頑張ってきたおまがいました。そのおまは清水さんというおまで、手が不自由なのに絵を書いていて、おまが仙台などに展示されるまで、になった事を聞いてとてもおどろきました。

今回は大変なおまに受け入れていただき、本当にありがとうございました。最後になりましたが、東北新生園の皆様、お体を大切にこれからも頑張ってください。

平成22年9月14日

栗原市瀬峰中学校 2年 佐藤 京花



東北新生園の皆様

日ごとに秋の風が感じられるようになりました。その後 お礼をいっしょにしますが、さて、先日 和彦のために時間を割いていただき、本当にありがとうございました。新生園で体験をさせていただき、大変勉強になりました。目が見えない方や不自由な方へどのように接するかわかりました。印象深かったことは、新生園の方と接してみてまるで家族の輩のような感じだったことです。そこに学んだことは外見を見ないようにしたことでした。体験をする前は、外見を見て和彦と付き合ったりしましたが、体験後は、外見を見ないようにになりました。和彦のケルレアでは、医療に興味あって体験をしました。私は初め医療に関心がありありませんでしたが、この体験をきっかけに医療に関心を持つようになりました。新生園の方々の職場を見させていただき本当にありがとうございました。この仕事は大事だと思いました。菊池さんと話したように東北新生園に行きたいです。今回 いろいろな体験をさせていただき本当にありがとうございました。最後になりますが、新生園の皆様 お体大切に過ごしてください。

平成 22年 9月 吉日

栗原市立瀬峰中学校 2年 高橋 道大



はじめまして

看護助手 千田 博子

六月二十一日より東北新生園に勤務させて頂いております千田博子と申します。

私は、となりの岩手県一関市より毎日通勤しています。通勤時間は約四十分かかります。通勤時間が長いので季節を感じる事が出来ます。それは、とても気持ちがいいです。

新生園の名前は知っていました。どうしてかと言うと、十五年前まで国立療養所岩手病院の看護助手として働いていました。新生園がどこにあるのかも分らず、試験の日は一関から通っている看護師の車の後について教えてもらいながら来ました。とてもとても緊張しました。新生園に入って見ると、広大な土地と、とても綺麗に整備された園内に驚きながら感激しました。

仕事を始めて、入居者さんや先輩方の名前を覚え

るのがまず大変でした。そこに毎日違う仕事を覚える。本当に大丈夫か？と…自分に問いかけていました。勤め始めて、もう五ヶ月が経とうとしています。ようやく半人前位になったのだろうか？と思いがら日々仕事をしています。

入居者さんが笑ってくれたり、「ありがとう」と言ってくれると幸せな気持ちになります。私も入居者さんに幸せを分けてあげたいいいけどなあ。そんな仕事をしたいです。

この間、入居者さんに「今日天気がいいから散歩しましょうね。」と言っていたのに、忙しく時間がとれず行くことが出来なくなり、「ごめんなさいね、今日散歩行けなくて。」と謝ると、「大丈夫だよ、あなたの元気な声聞いただけで十分だよ。今度連れて行って。」と言って下さいました。本当に申し訳なかったと反省しました。

まだまだな私ですが、余り迷惑をお掛けしない様に、日々頑張りますので、これからもよろしく願い致します。

初めまして

看護助手 本吉美枝

おびただしい落ち葉に、過ぎゆく晩秋を惜しむ今日この頃、知らぬ間に吐く息もすっかり白くなってきました。

初めまして、山鳩センターに六月二十一日よりお世話になっていきます本吉美枝です。早いもので働き始めて五ヶ月になろうとしています。

最初は、敷地の大きさにとても驚いたのを思い出します。そして自然の豊かさ…。この間、入所者さんがカメラで裏の山の紅葉を写しているのを見せて頂き、とても美しかったです。

仕事の方も、最初は本当に自分に出来るんだろうかと毎日不安でした。ありませんでした。まず初めに入所者さんの名前を覚えなくてはと思っていたら、ある入所者さんからメモ帳に部屋の番号と名前

はじめまして

看護助手 菅原 かわり

この度、六月二十一日より東北新生園に勤務させて頂いております菅原かわりと申します。

作文を書くのは本当に久しぶりで、文章に自信がありませんが自己紹介させて頂きたいと思います。

私は生まれも育ちも地元新田です。結婚をし現在中田町より通勤しております。私は新田の景色や雰囲気がとても居心地が良く、私にとって新田はホッとできる大好きな故郷です。

趣味はイベント事が好きで、よく友達とバーベキューをしたり、お祭りなど行事ごとに遊びに出かけています。また、よく見た目とギャップがあると言われるのですが、幼い頃の影響もあり、男性向けのスポーツが好きで、最近はなかなか行けていませんが石巻のバレーセンターまで打ちに行ったり、時間を作れた時はスポーツ教室へ参加したりし

を書いたのを頂き、とても嬉しかったです。そのメモ帳の字はとてもきれいな字とは言えなかったけれど、すごく一生懸命に書いてくれたみたいで、本当に有難いです。今でも大切に取っております。

先輩の助手さんには、掃除の仕方や、お風呂の介助の仕方、タオルの渡し方、挨拶の仕方、その他色々教えて頂きました。

まだまだ分からないことが沢山あり、入所者の皆さん、先輩の皆さんには色々迷惑をお掛けすると思いますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。



ています。

そんな私が高齢者福祉の職業を目指し始めたのは、高校二年の夏、ある高齢のご夫婦との出会いがきっかけでした。当時私は進路で進学するべきか就職するべきか悩んでいた時期でした。夏休み中に短期でラーメン屋さんにてアルバイトをしていたある日、その日はお昼時とても混雑していて、私は小さなミスをしてしまい、少し落ち込んでいました。そこへ高齢のご夫婦がお客さんとして来られ、トイレの場所を尋ねられた為、私が案内すると、そのご夫婦はお二人で満面の笑顔で「ありがとう」と言ってお下さりました。店員としてごく当たり前の事を行っただけなのですが、その時私は「ありがとう」という言葉に気持ちがとても救われ、この事をきっかけに高齢者福祉に興味を持ち、「こんな私だけど高齢者の方の役に立ちたい」と思い高校卒業後、仙台の専門学校にて二年間学んで参りました。

新生園にて勤め始めた頃に先輩が東北新生園の歴史の本を借りてきて下さり、本を読ませて頂きました。そこには開設当初の様子やまた残酷な内容も書かれており、これまでの歴史を学び痛感の思いでし

た。また新田で育ち新生園の存在を知っていても、
本当の意味で何も理解出来ていなかったことを情け
なく感じました。

就職してあっという間に四カ月半が過ぎました
が、まだまだどこもなく、先輩方にご迷惑をお掛け
しておりますが、毎日一日一日を精一杯頑張ってい
きたいと思っています。今後ともご指導よろしくお
願い致します。

自己紹介

看護助手 二上

忍

七月一日より東北新生園第一メーブルケアセン
ターに勤務させて頂く事になりました、二上忍と申
します。

原稿の依頼が来た時、文章が苦手な私はどうしよ
うかと悩み、締切間近に筆を取っている次第であり
ます。

私は母の故郷である新潟県の寺泊という小さな港

町で生まれ、姉が小学校に入学する昭和四十九年に
父親の実家である瀬峰町に来て、早三十六年になり
ます。

幼少時より新生園は近所でしたので、公園で遊ん
だり、グラウンドで遊んだり、教会の方に行ったり、
新生園の敷地にお邪魔したものでした。

社会人になり様々な職種を経験した後、特別養護
老人ホームに介護士として一年半勤務している時
に、思い出深い新生園の求人を目にし、面接を受け
てみました。私より知識、経験豊富な方ばかりです
し、男性は私一人だけでしたし、まさか私が採用さ
れるとは思ってもみなかったので、ビックリという
か今でも信じられないというか、不思議な気持ちで
す。私が生まれるもつと以前から生活されている入
所者のみなさまのご苦勞、先輩職員の方々のご苦勞
を思うと、尊敬の念と同時に感慨深いものが込み上
げて参ります。

こちらにお世話になり、四ヶ月が過ぎました。ま
だまだ未熟者で至らない所ばかりですが、早くテキ
パキと業務をこなせるよう頑張っていきたいと思ひ
ますので、宜しくご指導の程お願い致します。